

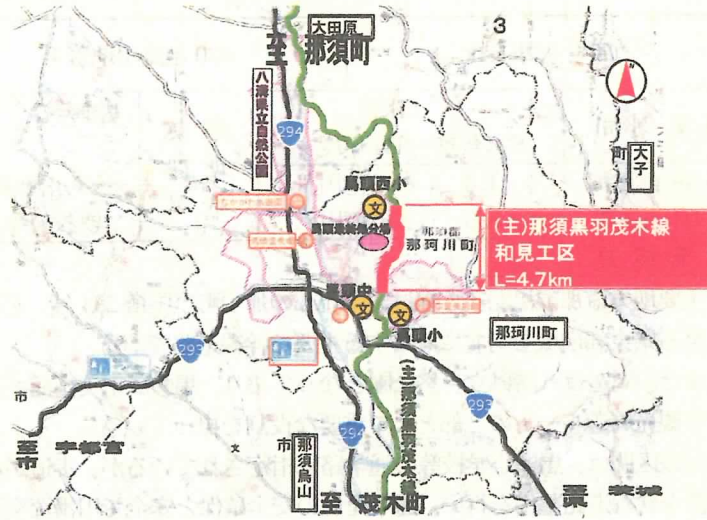
道路事業の再評価概要書

() は、前回計画時

道 路 事 業 の 再 評 価 概 要 書			番 号	3									
			事業主体	栃 木 県									
事業名	快適で安全な道づくり事業	事業所管課	県土整備部 道路整備課										
路線・河川名	主要地方道 那須黒羽茂木線	事業箇所名	那珂川町 和見										
事業区間	那須郡那珂川町小砂～和見	事業延長	(3,600) 4,700m										
H20年度事業化		H20年度用地着手		H23年度工事着手									
事業期間	(H29) H20年度～H34年度	事業 進 捗 状 況	基準年次：【平成29年度末時点】										
[うち用地補償費] 全体事業費	[4.0 (4.0)億円] 16.3 (12.6)億円		[うち用地補償費] 既投資事業費	[2.3億円] 8.1億円	進捗率 [58%] 50%								
事業概要													
<p>主要地方道那須黒羽茂木線は、県北部の那須町（国道294号）を起点とし、那珂川町を經由して、茂木町に至る県東部地域を南北に縦断する主要な幹線道路である。</p> <p>また、周辺は八溝県立自然公園となっており、馬頭広重美術館、道の駅ばとうなど観光施設を相互に連絡する観光周遊ルートの一部として重要な役割を担っている。</p> <p>当該区間は、馬頭小学校等の通学路に指定されているが、歩道がなく狭隘で屈曲していることから、歩道設置を含む道路整備を行い、通学児童の安全確保と安全で円滑な交通の確保により、地域の観光振興と活性化に寄与するものである。</p> <p>また、本路線は、H26年度末に決定された馬頭最終処分場基本設計において、廃棄物の搬入道路に位置付けられたこともあり、さらに整備が必要となっている。</p>													
事業を巡る社会経済情勢の急激な変化、技術革新、事業計画の大幅な変更 等													
<p>道路整備事業の同意が得られたことから、事業区間を延長1,100m延伸し、これにより道路整備が一連で実施できることになる。これに伴い全体事業費が増加する。</p> <p>なお、馬頭最終処分場の整備が進められており、稼働開始は平成35年1月に予定されている。</p>													
事業の投資効果													
<p>1 費用対効果分析結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>【総便益 (B)】</th> <th>【総費用 (C)】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 事業全体</td> <td>B/C=1.4 26.5 億円</td> <td>18.9 億円</td> </tr> <tr> <td>(2) 残事業</td> <td>B/C=1.3 13.2 億円</td> <td>10.0 億円</td> </tr> </tbody> </table>						【総便益 (B)】	【総費用 (C)】	(1) 事業全体	B/C=1.4 26.5 億円	18.9 億円	(2) 残事業	B/C=1.3 13.2 億円	10.0 億円
	【総便益 (B)】	【総費用 (C)】											
(1) 事業全体	B/C=1.4 26.5 億円	18.9 億円											
(2) 残事業	B/C=1.3 13.2 億円	10.0 億円											
<p>2 事業の整備効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭隘区間解消による交通の円滑化 ・通学児童等の安全確保 ・観光・地域産業の支援・地域間の交流連携強化 													
事業の進捗状況等													
<p>1 事業の進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度までに、起点側（馬頭西小学校）0.7kmを供用した。 ・平成28年度までに、終点側（馬頭小学校）1.0kmを供用した。 ・残る区間の用地取得を推進するとともに、今年度は南側0.4km区間の拡幅工事を進めている。 <p>2 今後の事業進捗の見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残る区間について引き続き用地取得及び工事を推進し、平成34年度に全線供用を図る予定である。 													
コスト削減等													
<p>1 コスト削減方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生骨材、再生アスファルト合材を積極的に活用しコスト削減 ・建設発生土の公共工事間流用によりコスト削減 <p>2 代替案立案等の可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既に約6割の用地を取得済であること。残る区間について、事業の同意が得ていることから、本計画が最適である。 													
事業の対応方針（案）		本計画で事業を継続する。											

事業箇所(位置図、概要図)

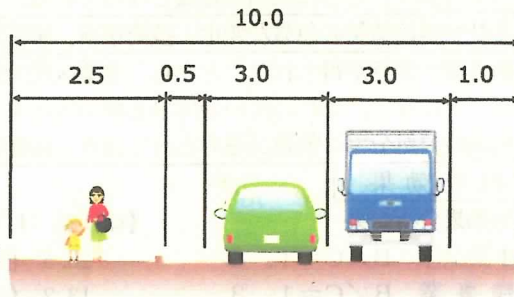
位置図



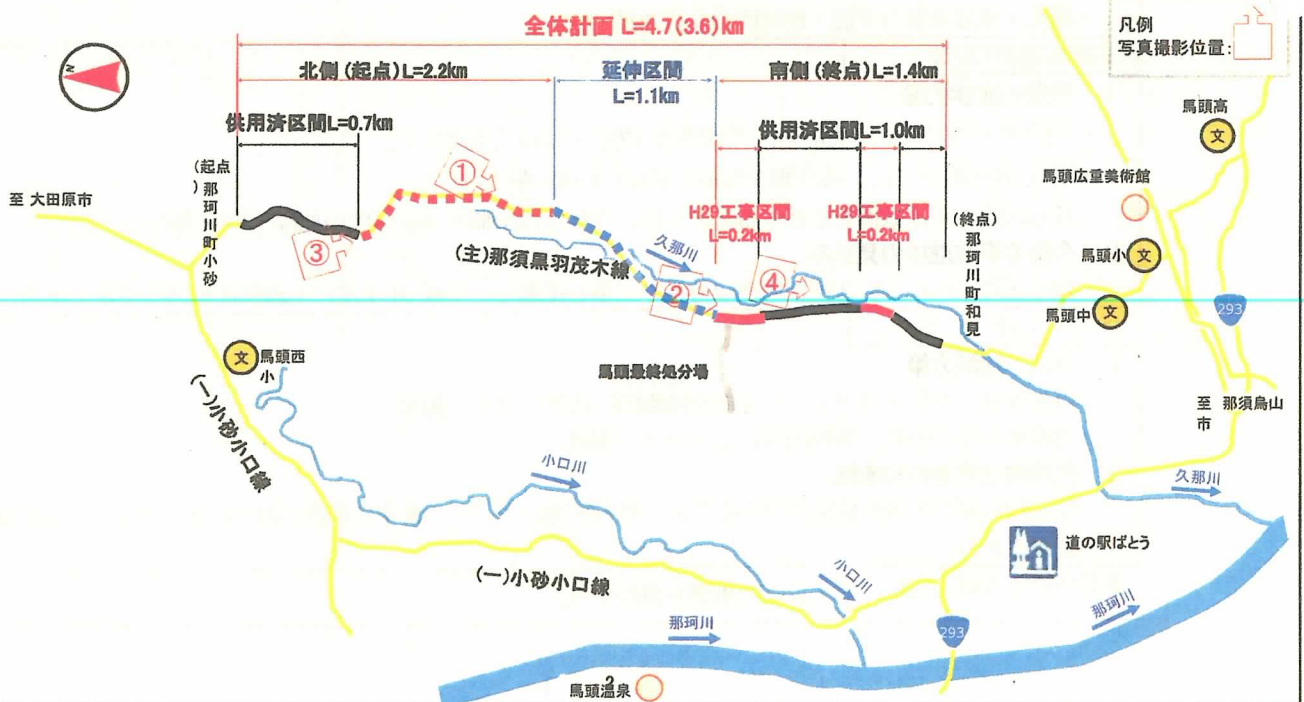
標準横断面図

計画

(単位:m)



概要図





①

②

狭隘部及び歩道未整備



③

供用区間 北【起点側：馬頭西小学校】



④

供用区間 南【終点側：馬頭小学校】